

教科 科目名	情報	単位数(週あたりの授業時数)	2 単位
	情報 I	履修学年(類型)	I 学年
教科書名(出版社名)		情報 I (日本文教出版)	

### ●学習到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4月	情報・メディアの特性	情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を学習する。
	5月	解決の考え方	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える
	6月	法の重要性の意義 情報社会とセキュリティ	情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて理解し、それらの背景を科学的に捉え、考察する。
	7月	情報技術の発展による生活・社会の変化	情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について学習し、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する
2	9月	メディアとコミュニケーション 情報のデジタル化	メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に学習する。 数値、文字、音、画像をコンピュータがどう表現しているかを理解し、デジタル化の特徴について学習する。
	10月	情報デザイン	情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解し、コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考え、表現や評価、改善を行う。
	11月	コンピュータのしくみ	コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解し、コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。
	12月	アルゴリズムとプログラム	アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、活用するとともに、その過程を評価し改善する。
3	1月	モデル化とシミュレーション	社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について学習し、問題の適切な解決方法を考察する。
	2月	情報通信ネットワーク 情報システムとデータベース	情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について学習し、情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考察する。
	3月	データの活用	データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について学習する。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識を問う問題に 解答できる(80%以上) 実習を効率良く行う	思考力を問う問題に 解答できる(80%以上) 発問に対する答えが、論理的である	自主的・積極的 協働的に取り組み、 創造することができる
B	知識を問う問題に 解答できる(50%以上) 実習を手順通りに行う	思考力を問う問題に 解答できる(50%以上) 発問に対し、考えを答えることができる	情報社会の問題解決に 意欲を持って取り組む
C	知識を問う問題に 解答できない(30%以下) 実習に手順を理解できない	知識を問う問題に 解答できない(30%以下) 発問に対し、考えを答えることができない	情報社会の問題解決に 興味を持つ
評価 方法	定期考査・小テスト 発問に対する答え 実習に対する技能	定期考査 発問に対する答え	授業・実習に取り組む姿勢 グループ活動での取組 成果物
評価の 重み	$\alpha=0.3$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.4$